

事務事業評価表(既存事業)

コード 5-1-3	事務事業名 環境読本活用事業	所管部課 環境防災部環境保全課
--------------	-------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 市内の環境問題について、調査データを交えてわかりやすくまとめた冊子を作成・配付することにより、市民の環境に対する意識を高め、自発的な環境保全活動を促進することを目的とする。	総合計画上の位置づけ (政策)環境にやさしいまちづくり (施策)環境意識の高揚(環2-1) (主要施策)学校教育における環境学習の推進
	実施内容、実施方法 環境読本「西東京市の環境」の作成・配付	根拠法令等 西東京市環境基本条例 環境基本計画
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 読本作成数	活動指標の考え方(定義) 市内の小学校4年生対象:約2,000冊、市民配付用:500冊、計2,500冊。
	成果指標名 読本配付数	成果指標の考え方(定義) 学校の授業の副本のほか、市主催の講演会や地域の勉強会等での配布数
	環境に対する意識向上度	読本の配付により、環境問題への関心が高まった人の割合

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		1,418	1,387	1,387	1,499	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		1,418	1,387	1,387	1,499	
	所要人員(B)	人	0.29	0.29	0.29	0.29	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,391	2,399	2,415	2,415	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	3,809	3,787	3,802	3,914	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(配布数)	千円	1.52	1.51	1.52		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	冊			2,500	2,500
		実績値	冊	2,500	2,500	2,500	
	活動指標	目標値					
実績値							
成果指標	目標値	冊			2,500	2,500	
	実績値	冊	2,500	2,500	2,500		
成果指標	目標値	%			100	100	
	実績値	%					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 5-1-3	事務事業名 環境読本活用事業	所管部課 環境防災部環境保全課
--------------	-------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	副本は小学校4年生程度を対象とした内容になっており、環境についての基礎知識が得やすい。教育指導室の意見を参考にして配布対象を小学校4年生としている。本冊子による環境学習により、小学生自身が環境をテーマに自由研究をするなど徐々に意識は高まりつつある。出前講座で職員が説明する際にもこの冊子を使っている。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	「西東京市環境基本計画(平成16年3月策定)」では環境学習の推進などの基本的考え方を示している。西東京市の環境についてわかりやすくまとめた読本を活用することにより、小学生の頃から環境保全に対する関心を高めることができる。今後は小学生だけでなく、大人も活用できるよう、利用の周知をさらに図っていく必要がある。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	毎年、読本の残数はほとんどなく、作成部数は適当である。ただし、まだ活用が十分ではない学校もあるので、学校での利用率を高めるとともに、小学生から大人まで広く活用されるよう情報提供していく必要がある。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	年1回定期的に小学校4年生全員に配付することにより、配付を受けた小学生とその家族が環境読本の内容を学習することができる。また、情報コーナーで閲覧可能であり、図書館でも閲覧・貸し出しを行っている。その他、市ホームページからも閲覧可能である。誰でも環境読本の内容を把握し学習することができるしくみを作っている。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	上記実績からみても小学生の頃から環境に対する意識を持つという意味では本事業による一定の効果はあったと思われる。まだ詳しい調査はしていないが、本冊子が有効に活用されている学校と、そうでない学校がある。したがって、本冊子がより活用されるよう、周知徹底するとともに、教育現場の声を再度聞き、対象、内容の検討を図りつつ今後も継続実施していく。

17年度における改善点	17年度は、エネルギー消費量チェックリストに加えて、エネルギーダイエットの項目を追加することで、地球温暖化対策に関する意識の啓発を図る。また、17年度は市主催の環境講演会でも配付し、アンケートを実施する。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	---

<p>評価の視点</p> <p>実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など</p> <p>必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など</p> <p>効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など</p> <p>公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など</p> <p>総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。</p> <p>拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。</p> <p>継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。</p> <p>改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。</p> <p>抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。</p> <p>廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。</p>
--